

山武市市民提案型交流のまちづくり推進事業審査会
令和2年度 事業成果（事業評価）報告書

令和2年度山武市市民提案型まちづくり推進事業審査会の審査結果を次のとおり報告いたします。

記

- 1 審査委員 11名
- 2 審査方法 実績報告書による書類審査及び成果報告会による発表
- 3 審査団体 スタート部門2団体
- 4 審査講評 各事業実施団体からの成果報告については、コロナ禍等社会情勢の影響により計画内容の見直しを行った団体もありましたが、概ね事業目的に沿った適正な活動であったと認められます。
各団体の事業評価内容は、別紙のとおりです。

<スタート部門>

■ 特定非営利活動法人リンク

活動しにくい社会情勢ではありましたが、潜在的な引きこもりの課題抽出、安心できる居場所や同じ悩みを抱える者同士のつながりの場づくりは大きな収穫です。当事者・家族に届く広報、つながりが必要であり、コロナ禍だからこそ SNS の活用に注視してください。講座の開催により支援者、協力者が増えたことは評価できます。今後の活動には地域の理解が重要であり、地域の支援活動との接点・連携強化が必要です。事業やイベント企画の際、理解関心のある市民への声かけなど、積極的な働きかけをして下さい。また、しっかりとした事業母体があることから予算不足となったときの対応もされていますが、補助金収入に依存している状況と思われます。加えて、実績報告としては活動内容、人数、効果等を明確に記載することが必要です。事業を実施して何がどう変わったのか自己評価をしてください。

引きこもりという非常に専門性の高い内容で、アンケート結果からも目的にかなった成果があがっています。これからの社会情勢下において益々必要とされる場所であり、家族や当事者の孤立を防ぐ救いの拠点です。継続が重要となりますので行政との協働事業等への移行など官民双方で考える必要があります。ひきこもり支援の窓口として活動を継続されることを期待しています。

■ 特定非営利活動法人コミュニティプロジェクト Enn

地域を舞台にしたイベントを通じ、「人の交流」・「地域の交流」・「世代間の交流」といった交流の輪を広げる活動は評価に値します。コロナ禍の企画運営には多くの苦労もあったと思いますが、若者から高齢者まで幅広い人を対象にする居場所づくりという目的に向けた活動がされています。一方で反省点にありましたが、事業内容は詰め込みすぎず、当該年度にできる計画づくりが大切です。活動の柱を決め特色あるコミュニティづくりを目指してください。実績報告としては活動内容、人数、効果等を明確に記載することが必要です。事業を実施して何がどう変わったのか自己評価をしてください。

まだ「ひろば」を知らないという声を聞きますので、知ってもらい更なる工夫を検討してください。地域の人々や各種団体への積極的な働きかけなど、地域づくりを面的なものにする工夫も必要です。また、寄付を募るなど地域の人々が繋がるお金の流れをつくるなど活動の持続化についても検討してください。

市民活動には「できる人が、できることを、できるだけ」という認識もあるなかで、そんな範疇をこえた活動をされており。コロナ禍での活動は大変なことですが、人に寄り添える「ひろばづくり」を継続されることを期待しています。災害時の互助機能としてのネットワークづくりにも期待しています。